

第 2 1 回例会報告 (1 1 月 2 9 日)

【 出 席 報 告 】

- ・ 会員数 5 8 名 ・ 出席数 3 3 名 ・ 欠席数 2 5 名
- ・ 当日出席率 6 8 . 0 9 % ・ 前々回修正出席率 9 3 . 6 2 %
- < 欠席会員 > 檜垣(圭)、檜垣(巧)、飯、飯沼、菅、川上、小島、松木、光宗、村上(裕)、越智(健)、重松、竹田、戸梶、横井、渡邊(一)
- [免除会員] 青野、原(真)、原(竜)、原田、松本、村上(敬)、佐伯、坂本、高木
- < 11 / 15欠席補填 > (11/6今治南)近藤 (11/13今治南)尾越 (11/16高松西)檜垣(俊)、川上 (11/16横浜)金森 (11/20IAC)越智(節)、吉武 (11/26今治北)伊藤、光藤、菅 (11/27今治南)渡邊(一)

幹事報告・第7回12月定例理事会のご案内：次週12月6日(木)例会終了後定例理事会を開催致します。理事の皆様はよろしくお願い致します。

- ・ 2007-08年度愛媛第一分区インターシティ・ミーティングのご案内：2008年1月26日(土)リーガロイヤルホテル新居浜にて開催。(13:30登録受付開始、14:00開会、14:40～16:00第一フォーラム、16:15～17:15 第2フォーラム、17:40閉会、17:50～19:30友愛・懇親の時間)テーマは「これで良いのかロータリー」です。ご出欠を事務局までお知らせ下さい。
- ・ ロータリーレート変更のお知らせ：現在\$1=116円が、12月より\$1=112円となります。
- ・ 先週御協力頂きました今治1.17実行委員会主催防災フェスティバルへの寄付金が17,000円となりました。ありがとうございました。
- ・ その他の回覧物：今治商工会議所より前会頭退任のご挨拶並びに会頭就任のご挨拶のお葉書、12月20日(木)忘年夜間例会、また2008年1月20日(日)3RC合同新年家族会の出欠回覧。(事務局までご連絡下さい。)

会 員 卓 話 瀬戸内海病院 消化器科部長 小堀陽一郎氏

最近、新聞などで人の皮膚の組織から万能細胞をつくる研究が進んでいるというニュースが話題になりました。皮膚の組織を取ってきて遺伝子を組み込み、それを培養して筋肉や神経の組織をつくります。肝臓や骨、場合によっては精子や卵子もできるんじゃないかといわれています。自分の皮膚を使って、拒絶反応もなく自分の臓器を移植できる可能性があります。孫悟空が毛を抜いて息を吹きかけ分身をつくるように、自分の分身ができるようになる時代が来るかもしれません。医者の中にはそういう研究ばかりを研究している人もいますし、開業医、臨床医として地域の医療に貢献している方もおられます。

わが国では8分30秒に1人が胃がん、食道がんで亡くなっています。実際には胃がんと肺がんで死亡率が高いわけですが、それでも胃がんに関しては特にこの20年ぐらいで死亡率は激減しています。激減の原因は、検診が盛んに行われたということです。早期がんの段階で見つければ、カメラや手術で9割以上が完治します。進行がんになると、50%ぐらいしか完全に治療するわけにはいなくなります。潰瘍であれば小さいものでもかなり痛みが出てきますが、がんの場合はおなかの張りや多少の痛み、食欲不振ぐらいしか症状がありません。大腸がんは、ポリープからできるタイプと最初からがんができるタイプがあります。ポリープタイプは、ポリープがかなり大きくなってもカメラで治療できます。最初からがんができるタイプは、かなりのスピードで進行してあっという間に手術ができなくなるレベルまで達します。大腸の検査は検便です。便に鮮血が交じっているかどうかです。進行がんでも2回に1回は陰性になる場合があります。1回でも出血が確認されたらカメラをしなければいけません。

カメラは1964年、グラスファイバーを使うことで明かりを通し、限りなく進歩しました。20年たって電子スコープができ、テレビ画面で見られるようになりました。カメラの管は直径5ミリの、鼻からでも入ります。小腸もカプセル型のものを飲み込んで見られるようになりました。カメラは検査だけでなく、ポリープを取ったり出血している潰瘍に注射したりできます。魚の骨が刺さった場合や入れ歯を飲み込んだ場合も取ることができます。カメラでの検査は楽になりました。カメラを使った検査がどうしてもいやな人は、バリウムを飲むかCTの検査もできます。ぜひ検査を受けていただきたい。



次回例会 (1 2 月 6 日)

【 外部卓話 】 米山奨学生・ドワン レ ホワイ アン さん

< 会員誕生祝 > 平尾 浩一郎氏 (1 2 / 9)

[献立 : 国際ホテル]